

芸術性の高いだんじりの競演
津山だんじり

| | |
|--------|--|
| 指定区分 | 県指定重要有形民俗文化財 |
| 読みかた | つやまだんじり |
| 所在地 | 津山市林田(大隅神社)・宮脇町(徳守神社) |
| 指定年月日 | 昭和43年4月19日 |
| 解説 | だんじりとは秋祭りに氏子が引きまわす山車(だし)のことである。津山だんじりは江戸時代後期から明治初期にかけて徳守神社や大隅神社の氏子により競って作られた。これらは檜や樺材の丸柱4本と斗拱(ときょう)で唐破風(からはふ)造の屋根を支え、各所に装飾的な彫刻が施されている。 |
| アクセス方法 | |
| 公開状況 | 「津山まつり」10月第3週の土日・第4週の土日 |
| 設備 | |
| 備考 | |

きつずページ

| | |
|-------------------|---|
| していくぶん (指定区分) | 県指定重要有形民俗文化財 |
| ぶんかざいめい (文化財名) | 津山だんじり |
| よみかた | つやまだんじり |
| しょざいち (所在地) | 津山市林田(大隅神社)・宮脇町(徳守神社) |
| していつひ (指定した日) | 昭和43年4月19日 |
| せつめい | 津山(つやま)では、江戸時代(えどじだい)のおわりごろから明治(めいじ)時代のはじめにかけて、徳守神社(とくもりじんじゃ)や大隅神社(おおすみじんじゃ)の地区(ちく)にすむ人たちによって、秋まつりに引きまわす「だんじり」が競(きそ)いあって作られました。とても豪華(ごうか)につくられ、芸術品(げいじゅつひん)としても高く評価(ひょうか)されています。今でも10月の津山まつりで活躍(かつやく)しています。 |